

令和8年 1 月29日

*futbol y vida*



*Poco a poco ...*  
 poco a poco ...

2026年“鍛錬期”は折り返し!!  
新人戦は走り・競り・闘い勝利する!!

## 2026年 “鍛錬期”恒例の「寒稽古」第一弾が終了!!

新人戦は明大八王子に勝利し、次戦は再び大成と対決!! 2/8 14:30 ko

2026 年がスタートして一か月が経過します。来週からカレンダーもいよいよ二月になります。先日、推薦入試が行われ文化スポーツ推薦で4名が受験しました。今年度の受験生はここ数年で一番少ないものの、トレーニングや**TRM**でのプレーを見る限りでは、50 期生同様に即戦力として期待できそうなものもいて楽しみです。年々公立高校を取り巻く部活動の環境は厳しくなり、片倉高校サッカー部新チームは、過去最も人数が少ない上に怪我人や体調不良者が多く、**TRM**ではメンバーが組めずに三年生やOBの力を借りて活動している情けない状況が続いています。その相手はシード校の**明大八王子高校**。昨年はリーグ戦初戦で対戦し



🏆 シード校明大八王子戦に挑む 🏆

立ち上がりビッグピンチを迎えましたがここはG Kが止めるとここからは一進一退の攻防が続きます。決定的なチャンスを何度も作るもののやはり今年のチームもフィニッシュの精度が課題です。前半は0-0で折り返しました。後半は相手の足が止まりゲームを優位に進めていきます。後半8分にスルーパスに抜け出した**野本（2年）**が抜け出し先制点を奪うと、12、13分と立て続けにゴールを決め、20分にはゴール前でスクランブルになったところを叩き込み四点目とリードを広げます。終盤に一点返されるものの最後まで攻めの姿勢を貫き通し4-1で勝利しました。

片倉高校サッカー部の冬の風物詩へ「寒稽古」第一弾終了!!

三学期がスタートして、一月三週目 1 月 19 日(月)～23 日(金)までの五日間、片倉高校サッカー部冬恒例の**鍛錬期**の代名詞となった「**寒稽古**」**第一弾**が行われました。寒稽古は私がサッカー部の指導をスタートしてから毎年一年間で一番寒い（今年は 20 日が**大寒**）時期に行っています。片倉高校へ赴任してから今年で五回目（初年度は新型コロナのため見送り）となり、ようやく片倉高校サッカー部にも冬の恒例行事として定着しました。特にここ数年は暖冬のため**暖稽古**となっていました。今年は大寒を境に早朝（6 時半）の八王子は氷点下の日が続いて（三日目 0℃、四日目 -2℃、最終日 -6℃）凍みるような寒さの中で行うことができスタッフは大歓迎（古？）で目的をかなえることができました。寒稽古とは、いつもより早く布団から飛び出し、日の出前で外がまだ暗く寒い中を学校へ向かう。寒稽古ではサッカーと真剣に向かい合い自分自身の気持ちの本気なのかどうか？を確認できる絶好のチャンスです。ここ数年は、ボールを複数使ったトレーニングや縦ビブスを使用したミニゲームである「**脳トレ**」にトライし、早朝から頭にも刺激をたくさん入れて脳にもいい汗をかくことができました。また、今年も股関節をいじめるメニューも取り入れ固まった関節をほぐしました。尚、**「寒稽古」第二弾**は、**2 月中旬**に行われます。

## 2026年サッカー部スポーツ特別推薦入試に4名が出願!! 社長、本当に勘弁してください!!

2026年度の都立推薦入試が1月26-27日の二日間行われました。今年度の片倉高校はサッカーの特別推薦には出願数は**4名**となり過去最低人数となりました。要因は様々ありますが、全体的に都立高校の志願者数は年々下降し(過去最低の65%)歯止めがききません。それに伴い、多くの学校でスポーツ推薦の志願者数が激減するとともに、部活動の存続が厳しくなっている学校が増えていて、単独でチームが組めなくなり大会出場辞退したり、合同チームを組んで参加するなど、現場は困窮しているのが現状です。これは三年前に都知事の打ち出した私立学校の授業料の無償化が大きく影響していることは周知の事実です。学費の壁がなくなれば、施設や学習環境の充実している私学を選択するのは当然であり致し方ありません。サッカー面言えば、人工芝のグラウンドやクラブハウス、スタッフの充実度、学校側のバックアップに保護者の理解・関心・期待度などが挙げられます。昨今、私学の無償化の波が公立高校に押し寄せているのは現場の先生方は感じていて、私学の強豪校に打ち勝つための工夫は今まで以上に必要ですが、現実的に公立高校は更に陰しく高い壁に直面しています。サッカー部では、一年を通して実施してきたサッカー部の活動(体験入部や練習見学、真摯に継続してきた中学生への進路相談など)は、ホームページ担当の先生のご協力のお陰もあり、リアルタイムで活動状況を頻繁に更新することができました。また部活動参加に訪れた際の対応(お世話)が大変良かったと受験生・保護者の方からも伺っています。しかし、突きつけられた現実には厳しいものでした。例年になく中学生の練習参加数は多かったのですが、残念ながら私学に流れたという話を聞きます。その中で四名の特別推薦志願者には感謝です。試験当日はとても暖かくコンディションも良かったので、受験生たちはリラックスして持ち味を発揮することができたのではないのでしょうか?四名ともそれぞれ特徴があるので即戦力として期待しています。尚、合格発表は2月2日(月)です。

### <After the Game>

先日の推薦入試を受けて上記はやや再掲となりますが、突き付けられた現場の悲痛な声です。

さて、厳しいチーム事情が続く中で迎えた新人戦三回戦。相手には大変失礼でしたが登録メンバー13名で挑まなくてはなりませんでした。先週は早朝の寒稽古に始まり、授業中の持久走、放課後の練習とサッカー漬けで掴んだ勝利。ここまでのトレーニングが証明されました。不思議なもので、結果が出るとトレーニングの雰囲気も変わります。次は**大成高校(T1)**となりました。四年前と三年前に真っ向勝負で挑みましたが、木っ端微塵に粉碎されたのは記憶に新しいです。大成が格上なのは承知しているので、今回はカテナチオでゴール前に鍵でもかけて困らせたいと思います。

